

CQ で読み解くホルモン補充療法のベストプラクティス 2025

企画者のことば

甲賀かをり

2025 年は、8 年ぶりに改訂された『ホルモン補充療法ガイドライン』が発行された記念すべき年であります。本特集は、このタイミングを捉え、読者の皆様に、ホルモン補充療法(HRT)の国内外の最新エビデンスをご提供するとともに、あらためて HRT の歴史や今後の展望をご紹介することを目的として企画いたしました。執筆陣には、当ガイドラインの編集・監修の母体である日本女性医学学会理事長の高松潔先生、ガイドラインの検討委員会委員長長の樋口毅先生、ならびにガイドラインの作成にかかわった錚々たる先生方をお迎えしご協力いただいております。

本特集では、特に「Clinical Questions」の形式で、臨床現場で誰もが疑問を抱くようなトピックを整理いたしました。ここではエビデンスの紹介にとどまらず、臨床ですぐにお役立ていただけるような“ティップス”を、エキスパートの先生方に解説していただいています。加えて、今回の改訂の主なポイントや海外における HRT のトレンドなどもトピックスとしてとりあげています。わかりやすい図表も豊富に用意しましたので、まずは特集全体をひととおり眺め、昨今の HRT の潮流を掴んでいただき、かつ、日々の臨床で困ったときの一冊としてお手元においてご活用いただければと思います。

折しも本特集の編集中に高市早苗内閣が発足し、総理自身が更年期障害の経験を公表するなど、女性の健康課題への理解と支援の重要性があらためて注目されています。女性医療、とりわけ更年期医療に対する社会的期待がこれまで以上に高まっているこの時期にこそ、われわれ産婦人科医はその期待に応える責任があると感じております。読者の皆様には、ぜひ本特集がその一助となることを願っております。